

2019年3月期 中間決算報告

2018.11.26



MORI Building DIGITAL ART MUSEUM EPSON teamLab Borderless
「グラフィティネイチャー」

teamLab
Exhibition view of MORI Building DIGITAL ART MUSEUM: teamLab Borderless,
2018, Odaiba, Tokyo
© teamLab
teamLab is represented by Pace Gallery

01 2019年3月期 中間決算概要

02 2019年3月期 業績予想

03 参考資料

2019年3月期 中間連結決算概要



(単位:億円)

	2018/3 中間期	2019/3 中間期	前年同期比	
営業収益	1,366	1,325	△41	△3%
営業利益	383	359	△23	△6%
経常利益	365	345	△20	△6%
親会社株主に帰属する中間純利益	257	215	△42	△17%

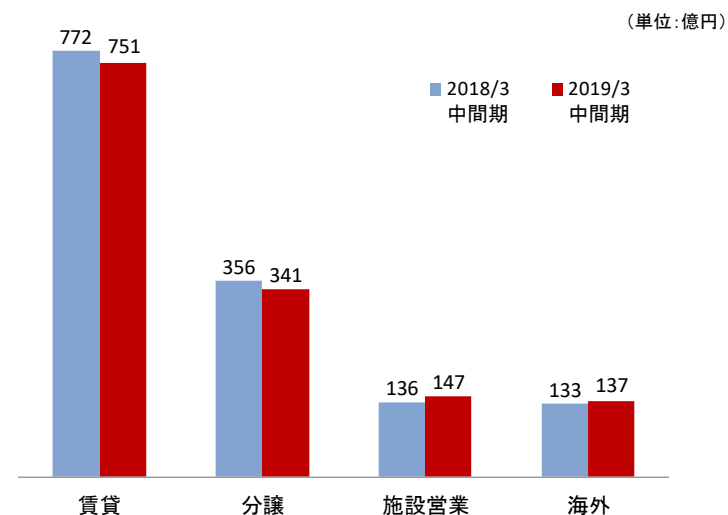
	2018/3	2019/3 中間期	前期比	
総資産	19,869	20,075	+205	+1%
有利子負債	12,364	12,646	+281	+2%
自己資本	4,831	4,839	+7	+0%
自己資本比率	24.3%	24.1%	△0.2%	-
ネットDEレシオ	1.8	1.8	+0.1	-

※2019年3月期より、税効果会計基準の改正に伴い、繰延税金資産・負債を固定区分に一本化しております。
これにより、2018年3月期の「総資産」を本改正適用後の数値に修正しております。

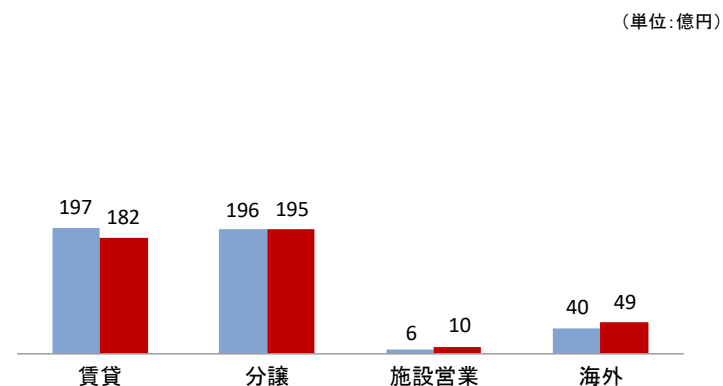
2019年3月期 中間連結損益計算書

	2018/3 中間期	2019/3 中間期	前年同期比	(単位:億円)
賃貸	772	751	△20	
分譲	356	341	△14	
施設営業	136	147	+11	
海外	133	137	+3	
営業収益	1,366	1,325	△41	△3%
賃貸	197	182	△14	
分譲	196	195	△0	
施設営業	6	10	+4	
海外	40	49	+9	
営業利益	383	359	△23	△6%
営業外収益	33	32	△1	
営業外費用	51	46	△4	
経常利益	365	345	△20	△6%
特別利益	24	6	△18	
特別損失	6	28	+21	
税金等調整前中間純利益	383	322	△60	
親会社株主に帰属する 中間純利益	257	215	△42	△17%

■営業収益



■営業利益



賃貸	賃貸管理事業、運営受託事業、請負工事事業、地域冷暖房・電気供給事業等
分譲	投資家向け不動産販売事業、個人顧客向け住宅分譲事業
施設営業	ホテル事業、会員制クラブ事業、ゴルフ事業
海外	海外における都市開発・賃貸管理事業等

2019年3月中間期 セグメント別概要(賃貸)

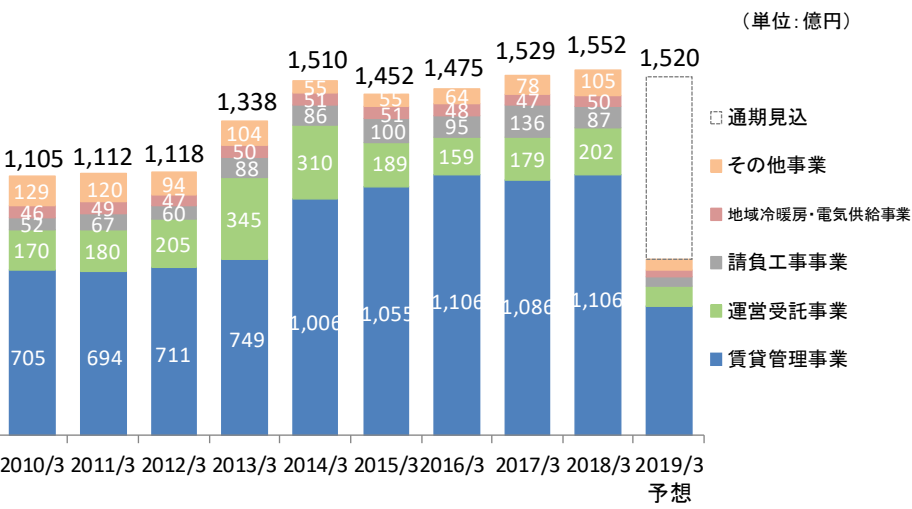


	2018/3 中間期	2019/3 中間期	(単位:億円) 前年同期比
営業収益	772	751	△ 20
賃貸管理事業	549	550	+ 1
運営受託事業	101	83	△ 17
請負工事業	50	38	△ 12
地域冷暖房・電気供給事業	27	30	+ 3
その他事業	44	48	+ 4
営業利益	197	182	△ 14

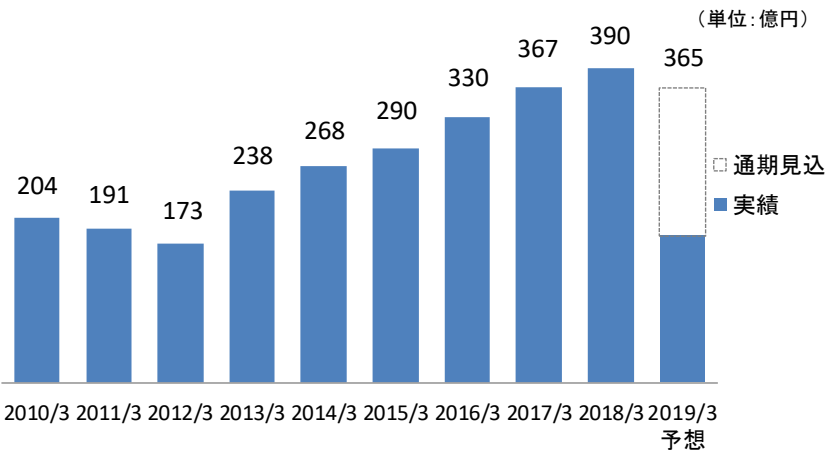
※2019年3月期より、一部のサブセグメントの内容を変更しております。
これにより、2018年3月期の数値を修正しております。

賃貸管理事業	オフィス、住宅、店舗の賃貸等
運営受託事業	プロパティマネジメント、アセットマネジメント業務等
請負工事業	テナント入退去に伴う室内造作工事
地域冷暖房・電気供給事業	電気、冷熱(冷水)、温熱(蒸気)を供給
その他事業	投資事業、展望台事業、フォーラム事業等

■ 営業収益の推移

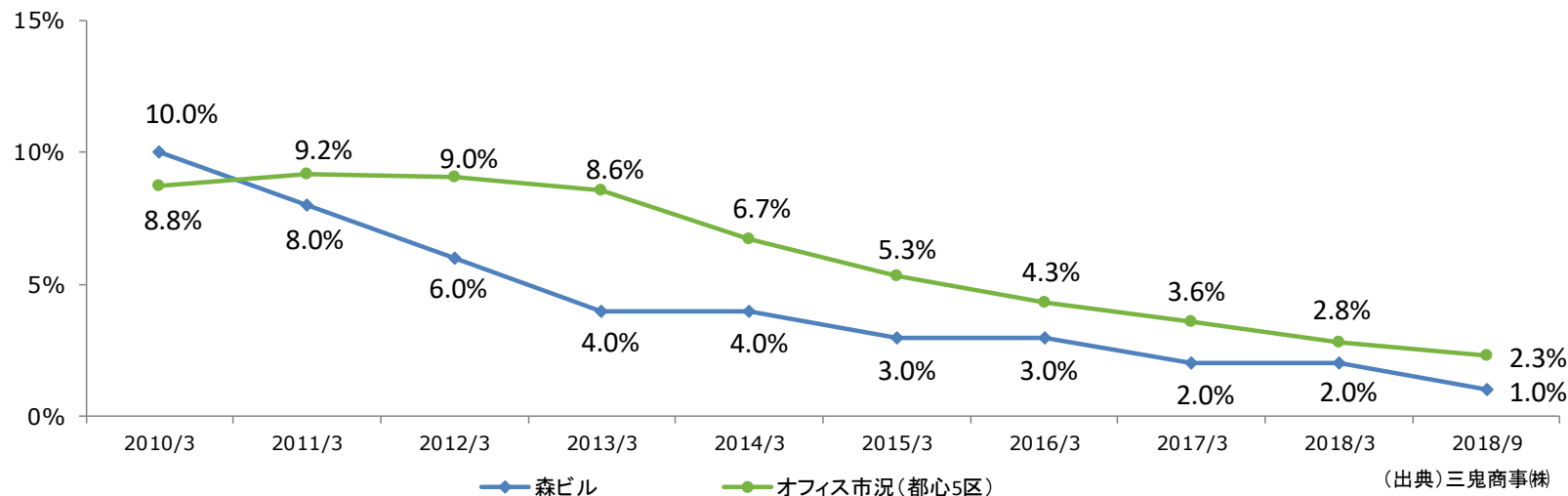


■ 営業利益の推移

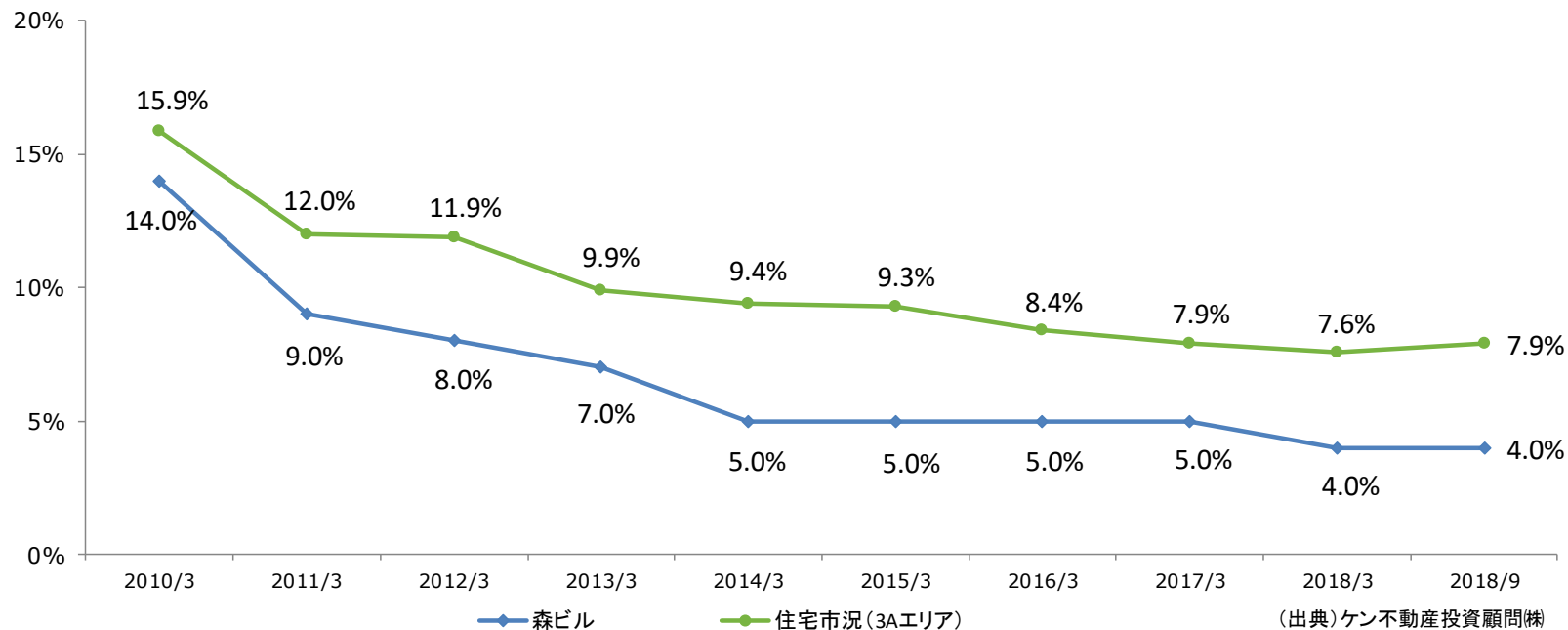


セグメント別概要(賃貸)～空室率～

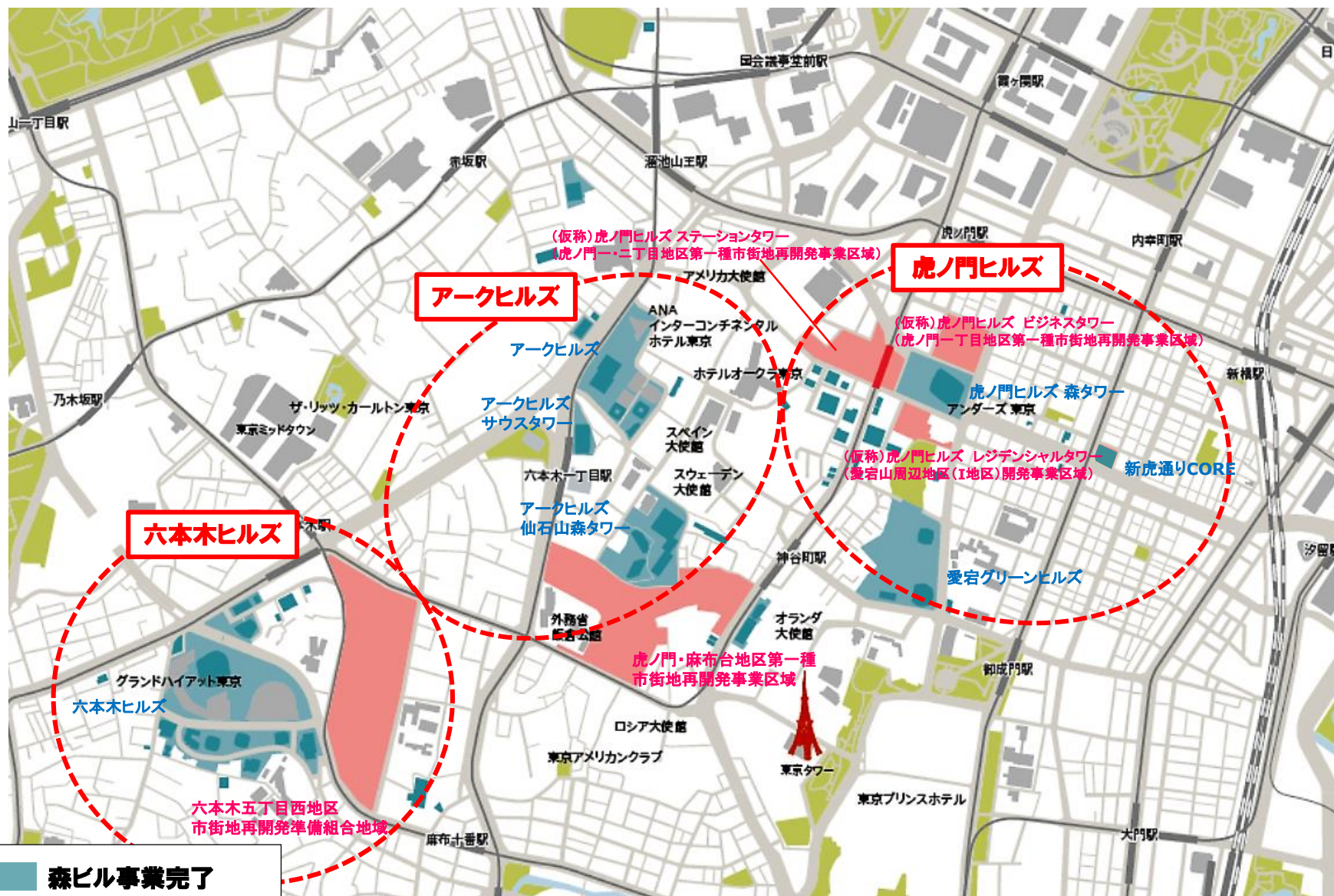
■オフィス空室率



■住宅空室率



現在計画・進行中の当社プロジェクト



森ビル事業完了

森ビル進行中事業

国際新都心へ拡大・進化する「虎ノ門ヒルズエリア」

■3つの大規模プロジェクトと地下鉄新駅による一体的な都市づくりが進行中



ビジネスタワー計画地現況(2018年10月撮影)

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
(仮称)虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー	●7月 都市計画 決定	→●1月 再開発組合 設立	→●2月 着工		→●12月 竣工(予定)				
(仮称)虎ノ門ヒルズ レジデンシャル タワー		●9月 都市計画決定	→●3月 着工				→●1月 竣工(予定)		
(仮称)虎ノ門ヒルズ ステーションタワー				●3月 都市計画 決定	→●11月 再開発 組合設立	→2019年度 着工(予定)			→●2月 竣工(予定)
新虎通りCORE		●7月 着工		→●9月 竣工					

区域面積	約7.5ha
延床面積	約80万㎡(約24万坪)
オフィス面積	約30万㎡(約9万坪)
住宅戸数	約720戸
商業面積	約2万6,000㎡(約8,000坪)
緑地面積	約1万5,000㎡(約4,500坪)

国際新都心へ拡大・進化する「虎ノ門ヒルズエリア」

■ 国際新都心・グローバルビジネスセンターへと進化拡大する虎ノ門ヒルズ



区域面積： 約7.5ha
 延床面積： 約80万㎡(約24万坪)
 オフィス面積： 約30万㎡(約9万坪)
 住宅戸数： 約720戸
 商業面積： 約26,000㎡(約8,000坪)
 緑地面積： 約15,000㎡(約4,500坪)

虎ノ門ヒルズ 森タワー(2014年竣工)

区域面積： 約5.7ha (Ⅲ街区 ※道路部分含む)
 敷地面積： 約17,100㎡(約5,200坪)
 延床面積： 約244,400㎡(約74,000坪)
 高さ/階数： 約247m/52階
 用途構成： オフィス、商業、住宅、ホテル、カンファレンス 等

虎ノ門一丁目地区(2019年12月竣工予定) (仮称)虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー

区域面積： 約1.5ha
 敷地面積： 約10,100㎡(約3,100坪)
 延床面積： 約173,000㎡(約52,300坪)
 高さ/階数： 約185m/36階
 用途構成： オフィス、商業、ビジネス支援施設、バスターミナル 等

愛宕山周辺地区(2021年1月竣工予定) (仮称)虎ノ門ヒルズ レジデンシャルタワー

区域面積： 約0.7ha
 敷地面積： 約6,530㎡(約2,000坪)
 延床面積： 約121,000㎡(約36,900坪)
 高さ/階数： 約220m/54階
 用途構成： 住宅、商業、子育て支援施設、スパ 等

虎ノ門一・二丁目地区(2023年2月竣工予定) (仮称)虎ノ門ヒルズ ステーションタワー

区域面積： 約2.2ha
 敷地面積： 約14,000㎡(約4,200坪)
 延床面積： 約253,100㎡(約76,600坪)
 高さ/階数： 約265m/49階
 用途構成： オフィス、商業、ホテル、ビジネス発信拠点 等

新虎通り沿道開発のモデル事業「新虎通りCORE」竣工

- 新虎通り沿道開発のモデル事業である「新虎通りCORE」が9月26日に竣工。
- 2つの街区を一体的に開発した、街区統合・再編の第1号プロジェクト。
- 1、2階には賑わいや交流の場となる商業施設やイベントスペースを設置。新たなコミュニティの場として、エリアマネジメント活動の拠点として、新橋・虎ノ門エリア全体の賑わいを創出。



新虎通りCORE（2018年9月撮影）



賑わいと交流の拠点となる商業施設



1階のイベントスペースと沿道を一体的に活用



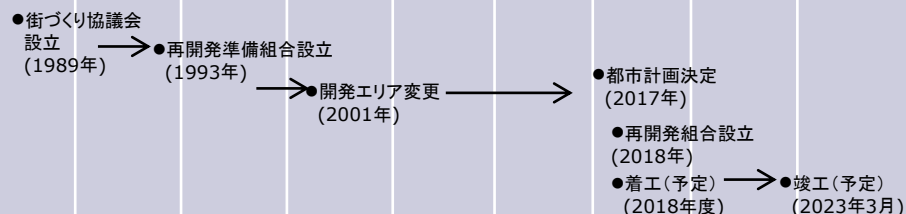
敷地面積	1,524㎡
延床面積	17,433㎡
階数	地上15階、地下1階、塔屋1階
主要用途	オフィス、店舗、駐車場
着工	2016年8月
竣工	2018年9月

都心の新たなランドマーク「虎ノ門・麻布台地区第一種市街地再開発事業」

- 1989年の街づくり協議会設立から約30年を経て、2018年3月に再開発組合が設立。
- 対象区域は、隣接するアークヒルズ 仙石山森タワーを含め、計画的な街づくりが進められてきたエリアに位置。
- 約8.1haの区域に、オフィス、商業、住宅、ホテル、インターナショナルスクール、生活支援・交流施設など、多彩な都市機能を一体的に整備。
- 緑がいっぱいに広がる敷地に、都心の新たなランドマークとなる約323mの複合棟をはじめ、約1,300戸の住宅を整備。
- 2018年度内の本体工事着工、2023年3月の竣工を目指す。



1990年 2000年 2010年 2020年



区域面積	約8.1ha
建築面積	約63,910㎡
延床面積	約864,100㎡
着工	2018年度(予定)
竣工	2023年3月(予定)

2019年3月中間期 セグメント別概要(分譲)

■不動産販売事業

	2018/3 中間期	2019/3 中間期	前年同期比
営業収益	356	341	△ 14
投資家向け不動産販売事業	286	321	+ 34
個人顧客向け住宅分譲事業	69	20	△ 49
営業利益	196	195	△ 0

(単位:億円)

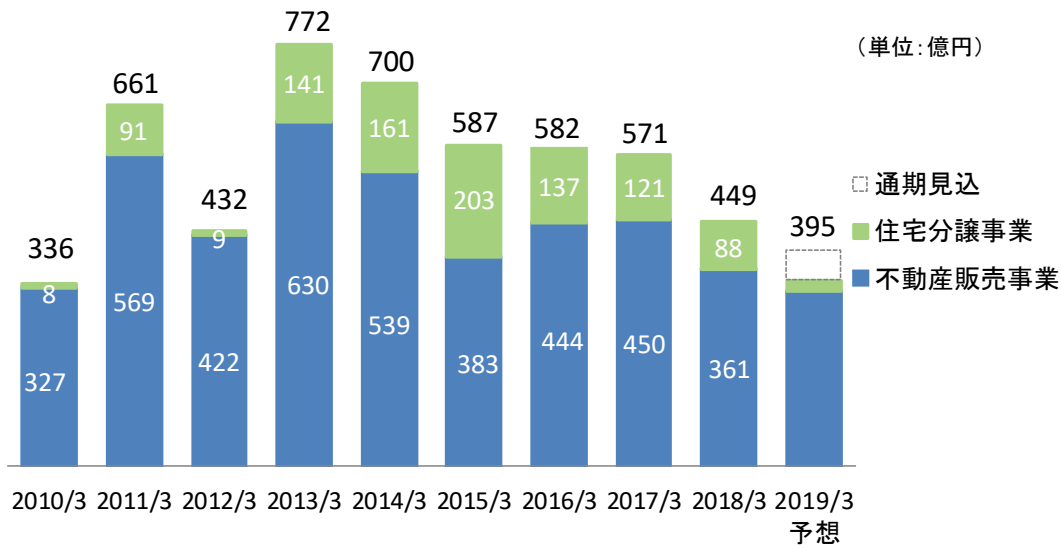


虎ノ門ヒルズ森タワー



オランダヒルズ森タワー

■営業収益の推移



■住宅分譲事業



元麻布ヒルズ

(単位:億円)

	2018/3 中間期	2019/3 中間期	前年同期比
営業収益	136	147	+11
ホテル事業	99	110	+10
会員制クラブ事業	26	27	+0
ゴルフ事業	9	9	△0
営業利益	6	10	+4

■主な事業内容及び運営施設

ホテル事業

- グランドハイアット東京
ステーキハウス「オークドア」



- アンダーズ東京



ゴルフ事業

- 畑岡 奈紗 アメリカ女子ツアー2勝



アメリカツアー2勝目を飾った「TOTOジャパクラシック」

- 央戸ヒルズカントリークラブ
「日本ゴルフツアー選手権 森ビルカップ」

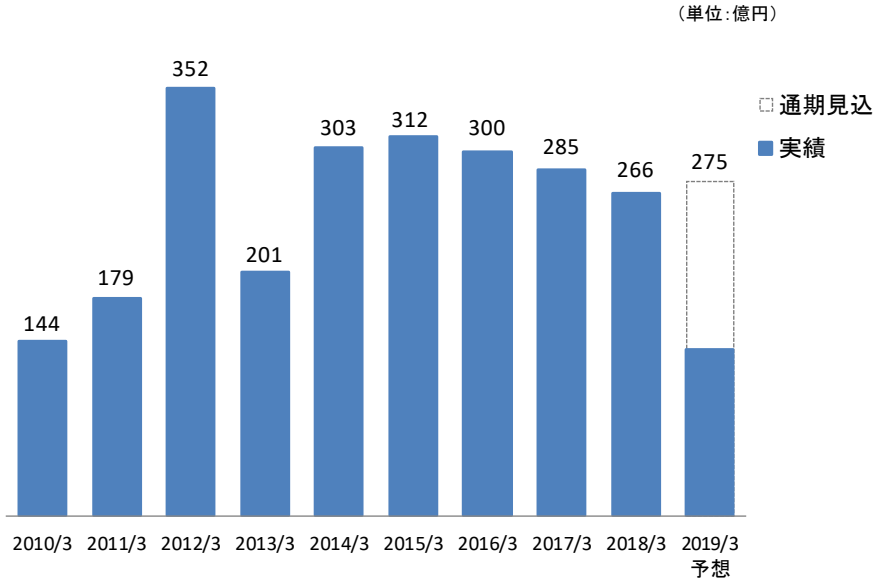


2019年3月中間期 セグメント別概要(海外)

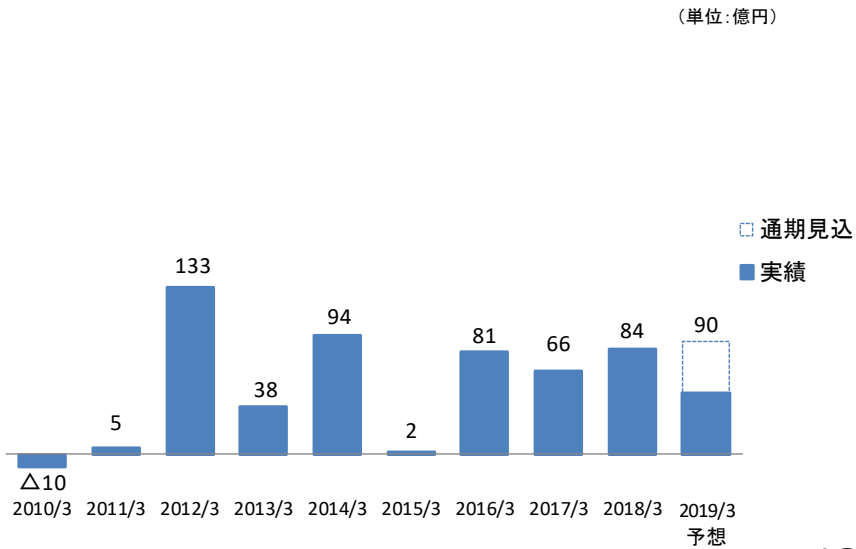
	2018/3 中間期	2019/3 中間期	(単位:億円) 前年同期比
営業収益	133	137	+3
事務所	104	106	+1
ホテルその他	29	30	+1
営業利益	40	49	+9

事務所	上海環球金融中心、恒生銀行大廈の賃貸等
ホテルその他	パーク ハイアット 上海、展望台の運営等

■ 営業収益の推移



■ 営業利益の推移



上海環球金融中心
2008年8月竣工



パーク ハイアット 上海



展望台(スカイウォーク100)
地上474m

当社初の東南アジアにおける開発事業 「ジャカルタ・オフィスタワープロジェクト(仮称)」

- 当社初の東南アジアでの開発事業で、ジャカルタ最高水準のプレミアムグレードとなる、地上58階建て、高さ約266m、延床面積約190,000㎡の大規模オフィスタワー計画。
- ジャカルタ最大のビジネス街において、超高層ビルが集積する目抜き通り・スディルマン通り沿い、スマンガ交差点近くに位置。
- 東京や上海などで培った都市づくりのノウハウを活かし、成長著しい国際都市・ジャカルタのさらなる進化・発展に貢献。



建物エントランス(イメージ)



オフィスエントランス(イメージ)



商業店舗(イメージ)



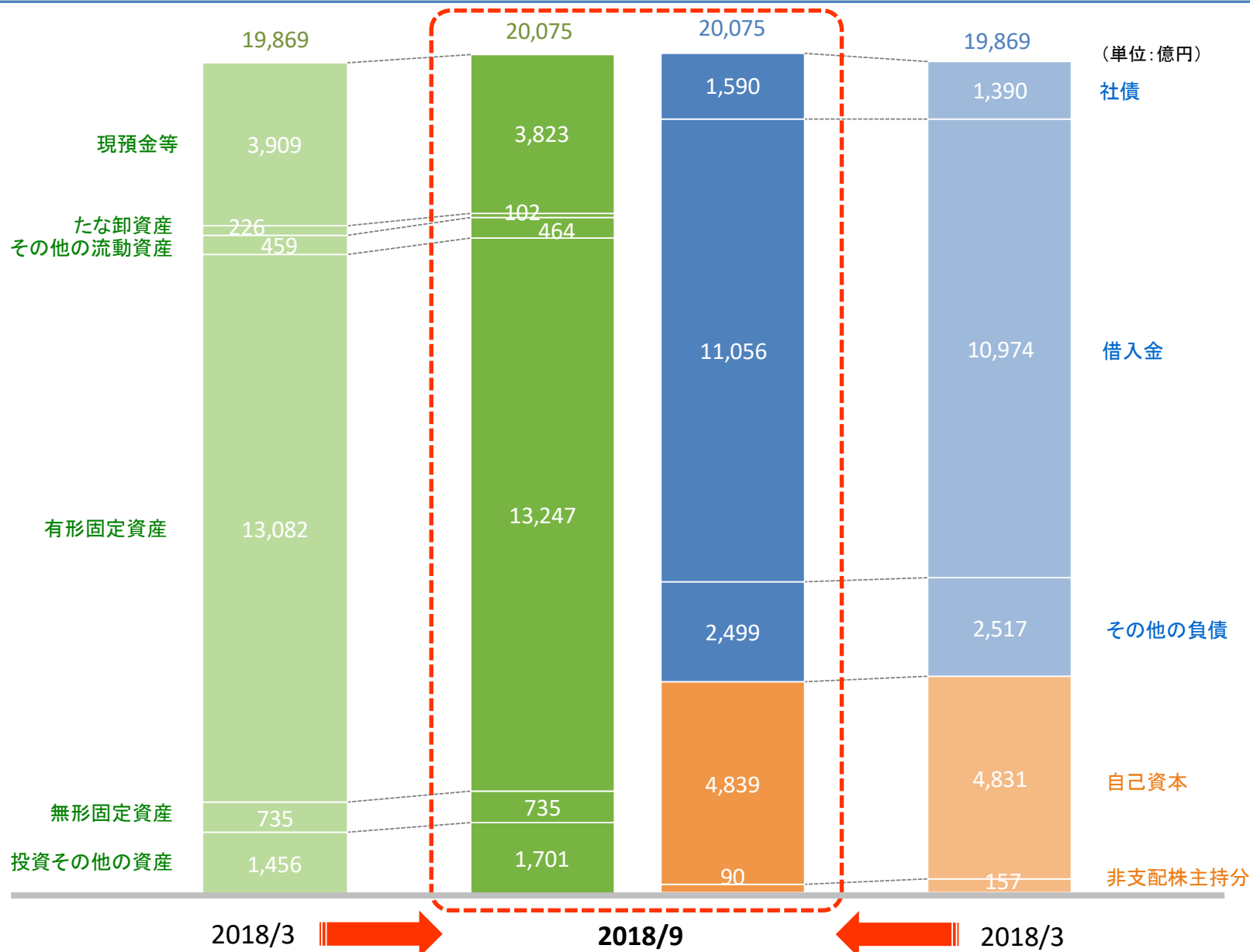
ジャカルタ市広域図



現場写真(11月撮影)

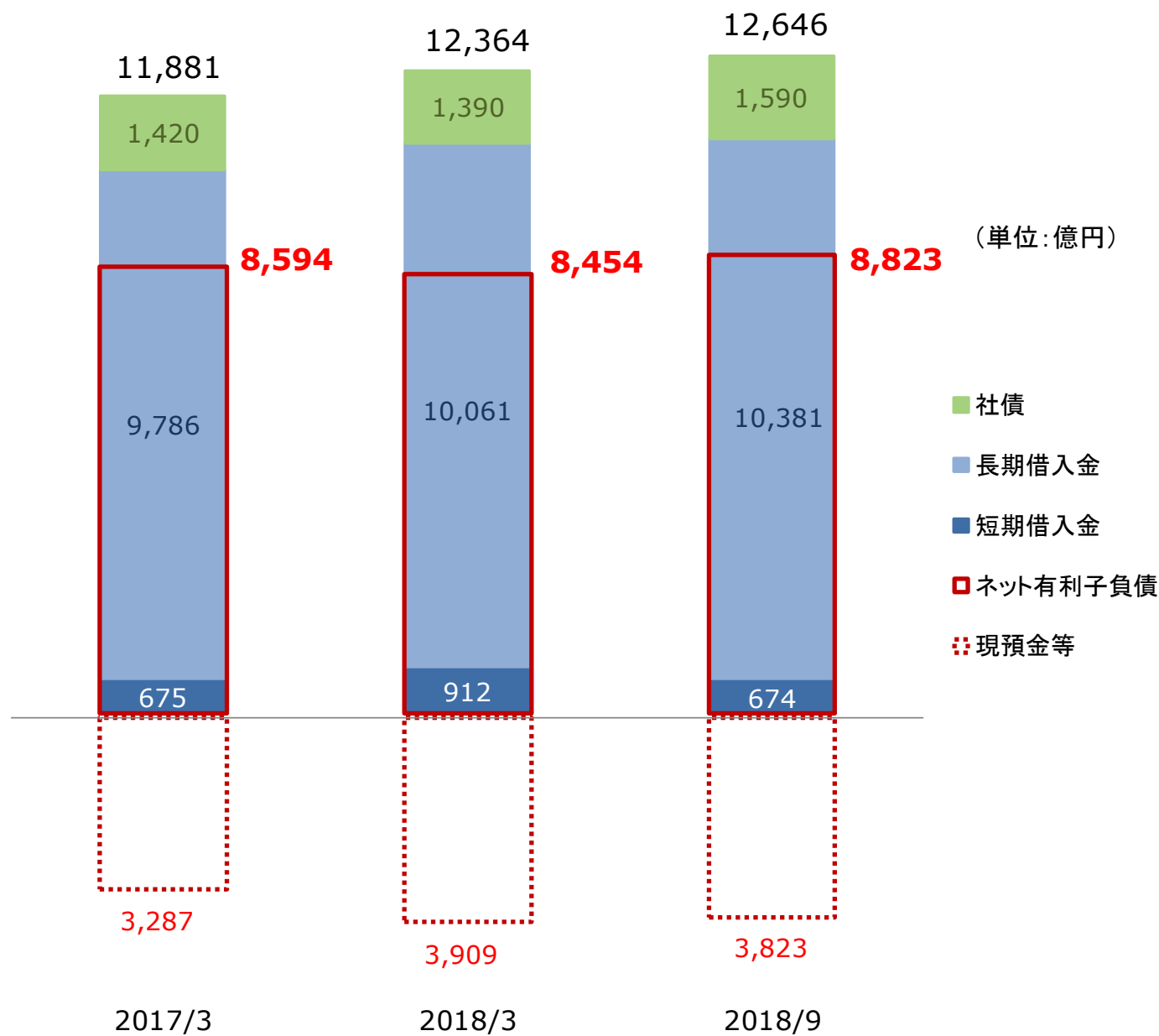
所在地	インドネシア・ジャカルタ
敷地面積	8,484 ㎡
延床面積	約190,000 ㎡
階数	地上 58 階、地下 4 階
主要用途	事務所、店舗、駐車場
竣工	2021年(予定)

2019年3月期 中間連結貸借対照表の概要

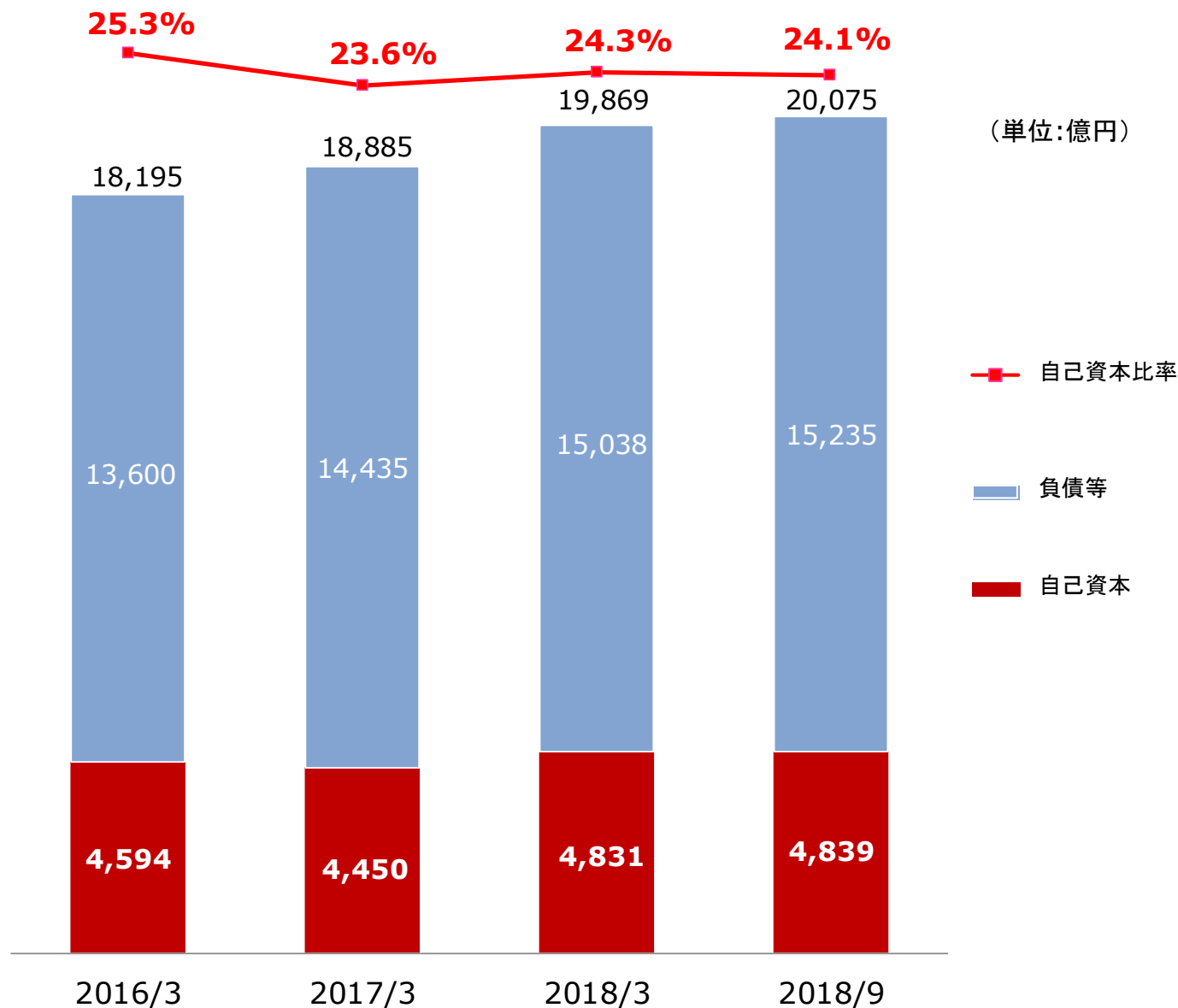


※2019年3月期より、税効果会計基準の改正に伴い、繰延税金資産・負債を固定区分に一本化しております。
これにより、2018年3月期の「資産計」、「負債・純資産計」を本改正適用後の数値に修正しております。

2019年3月期中間決算 有利子負債の状況



2019年3月期中間決算 自己資本(比率)の状況



01 2019年3月期 中間決算概要

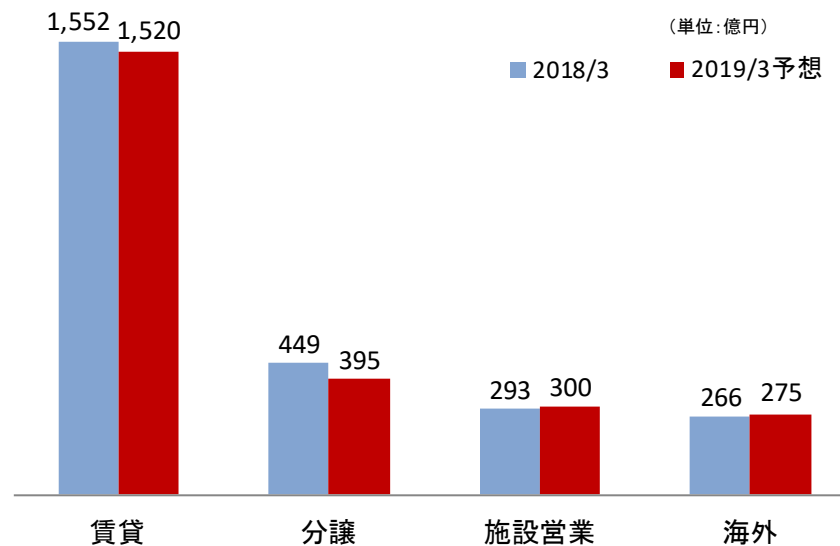
02 2019年3月期 業績予想

03 参考資料

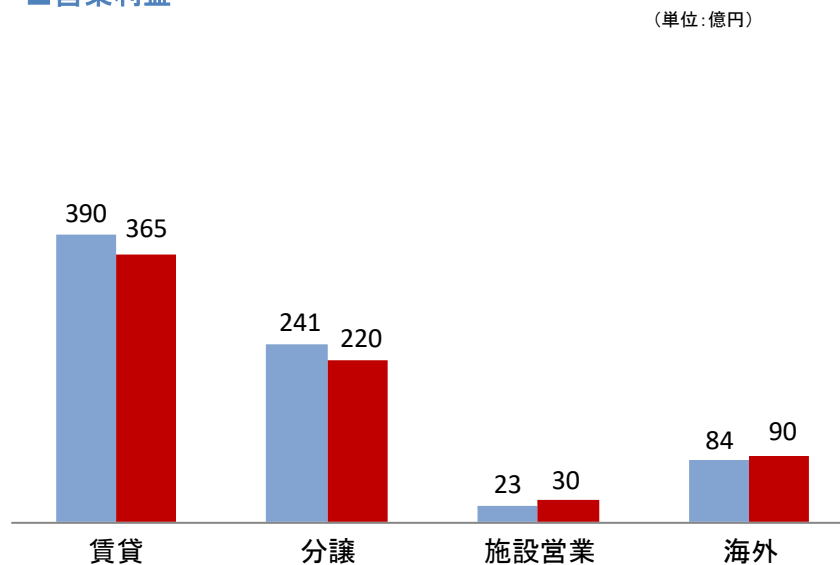
2019年3月期 業績予想

	2018/3	2019/3 予想	(単位:億円) 前期比
営業収益	2,497	2,430	△67
賃貸	1,552	1,520	△32
分譲	449	395	△54
施設営業	293	300	+6
海外	266	275	+8
営業利益	631	580	△51
賃貸	390	365	△25
分譲	241	220	△21
施設営業	23	30	+6
海外	84	90	+5
経常利益	570	530	△40
親会社株主に帰属する 当期純利益	402	300	△102

■ 営業収益



■ 営業利益



01 2019年3月期 中間決算概要

02 2019年3月期 業績予想

03 参考資料

最先端のアートとテクノロジーを世界に発信 チームラボと共同で大規模デジタルアートミュージアムをオープン

- 2018年6月21日、お台場パレットタウンに「MORI Building DIGITAL ART MUSEUM: EPSON teamLab Borderless」がオープン。
- 施設面積10,000㎡という圧倒的なスケールを誇る、チームラボとして東京初の常設展。コンセプトの“Borderless”には、「『作品と作品』『作品と鑑賞者』『自己と他者』の境界をなくし、鑑賞者も作品の一部となって溶け込んでいく」という想いを込めている。
- 国内外から多くの人々を惹きつけ、9月に来場者50万人を突破。チケットは連日完売が続き、SNSでも大きな話題に。
- 2020年の東京オリンピック・パラリンピックを目前に控え、最先端の「アート」「文化」「テクノロジー」を世界に発信し、東京の魅力をさらに高めていく。



MORI Building DIGITAL ART MUSEUM EPSON teamLab★Borderless



オープニングセレモニー

(右: チームラボ株式会社 代表取締役 猪子寿之 氏
左: 弊社代表取締役社長 辻慎吾)



「人々のための岩に憑依する滝」



「The Infinite Crystal Universe」



「マルチジャンピング宇宙」

teamLab
Exhibition view of MORI Building DIGITAL ART MUSEUM: teamLab Borderless,
2018, Odabara, Tokyo
© teamLab
teamLab is represented by Pace Gallery

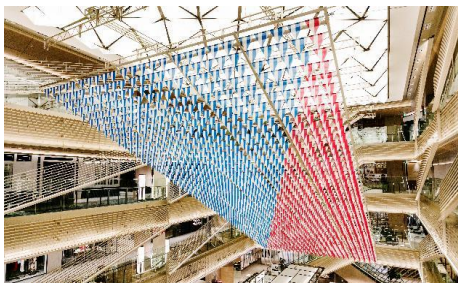
時の経過とともに磁力を増す森ビルの都市づくり

- 【GINZA SIX】 4月20日に1周年を迎え、「世界のGINZA」の文化発信拠点として、街の賑わいを強力に牽引している。
- 【六本木ヒルズ】 4月25日に15周年を迎え、延べ来街者は6億人を突破。世界中から多様な価値観、文化、感性、技術を迎え入れ、常に新しい磁力を創発する街として、進化を続けている。
- 【上海環球金融中心】 10月25日に10周年を迎え、アジアを代表する金融センターとして発展する上海市のランドマークとして、エリアの賑わいと発展を牽引している。
- 【ラフォーレ原宿】 10月28日に40周年を迎え、ファッションを核とした街づくりで、原宿エリアの発展と磁力向上に貢献している。

「GINZA SIX」1周年（4月20日）



1周年を迎えたGINZA SIX



ダニエル・ビュレンによるインスタレーション

「上海環球金融中心」10周年（10月25日）



10周年を迎えた上海環球金融中心



ワーカーなどに人気のランチタイムコンサート

「六本木ヒルズ」15周年（4月25日）



15周年記念インスタレーション

Louise Bourgeois's 1999 bronze sculpture *Maman* wrapped in fabric by Magda Sayeg in a temporary installation at Roppongi Hills, Tokyo, April-May 2018.
© The Easton Foundation/Licensed by JASPAR, Tokyo and VAGA, New York



コミュニティ「ヒルズブレイクファースト」

「ラフォーレ原宿」40周年（10月28日）



40周年を迎えたラフォーレ原宿

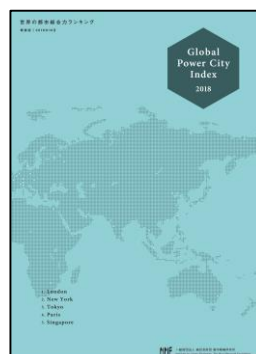


グランバザールの賑わい

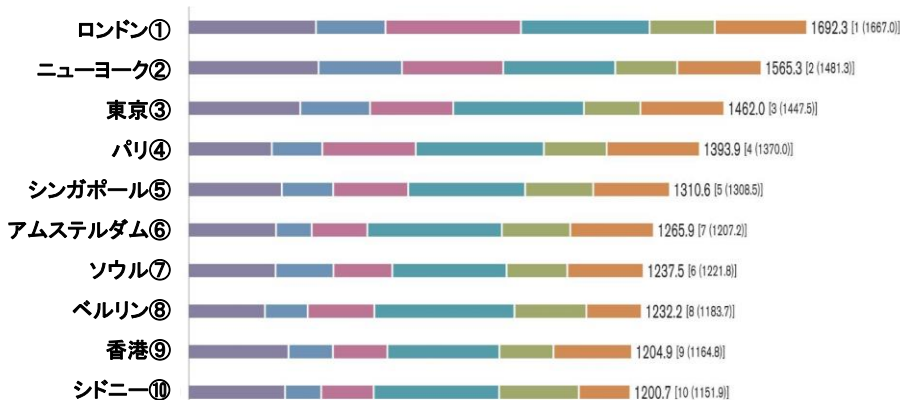
磁力ある都市づくりのための調査研究活動

- 森記念財団では、2008年より継続している「世界の都市総合ランキング」を10月18日に発表。
- 東京は昨年同様3位を維持。2020年の東京五輪を目前に控え、「文化・交流」分野の更なる改善が急務。
- また、日本の各都市の「特性」を明らかにすることを目的に、「日本の都市特性評価」を初めて実施。
- 全国72都市および東京23区の計95都市を、「経済・ビジネス」「研究・開発」「文化・交流」「生活・居住」「環境」「交通・アクセス」の6分野・83指標を用いて分析。地方創生に向けた政策立案ツールとして活用されることを期待。

■世界の都市総合ランキング 2018



トップ3都市(ロンドン、ニューヨーク、東京)の比較



都市の総合力をランキング形式で表現

■日本の都市特性評価 2018

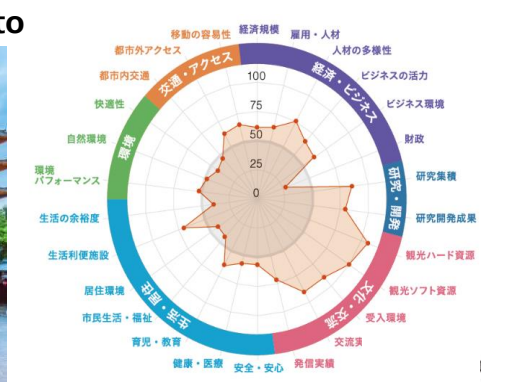


政令指定都市	(政令指定都市以外の) 県庁所在地	各都道府県で 人口規模が第1~3位の都市
北海道 札幌		函館・旭川
東北 仙台	青森・盛岡・秋田・山形・福島	八戸・郡山・いわき
関東 さいたま・千葉・横浜・川崎・相模原	水戸・宇都宮・前橋・甲府・長野	つくば・高崎・太田・松本
東海 静岡・浜松・名古屋	岐阜・津	富士・豊田・四日市
北陸 新潟	富山・金沢・福井	長岡
近畿 京都・大阪・堺・神戸	大津・奈良・和歌山	東大阪・姫路
中国 岡山・広島	鳥取・松江・山口	倉敷・呉・福山・下関
四国	松山・高松・高知・徳島	
九州 北九州・福岡・熊本	佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島	久留米・佐世保
沖縄	那覇	

主要72都市
東京23区
千代田区・中央区・港区・新宿区・文京区・台東区・墨田区・江東区・品川区・目黒区・大田区・世田谷区・渋谷区・中野区・杉並区・豊島区・北区・荒川区・板橋区・練馬区・足立区・葛飾区・江戸川区

調査対象は計95都市(全国72都市+東京23区)

京都市 Kyoto



レーダーチャートを用いて都市の特性を視覚的に表現

起債方針及び社債明細・償還スケジュール

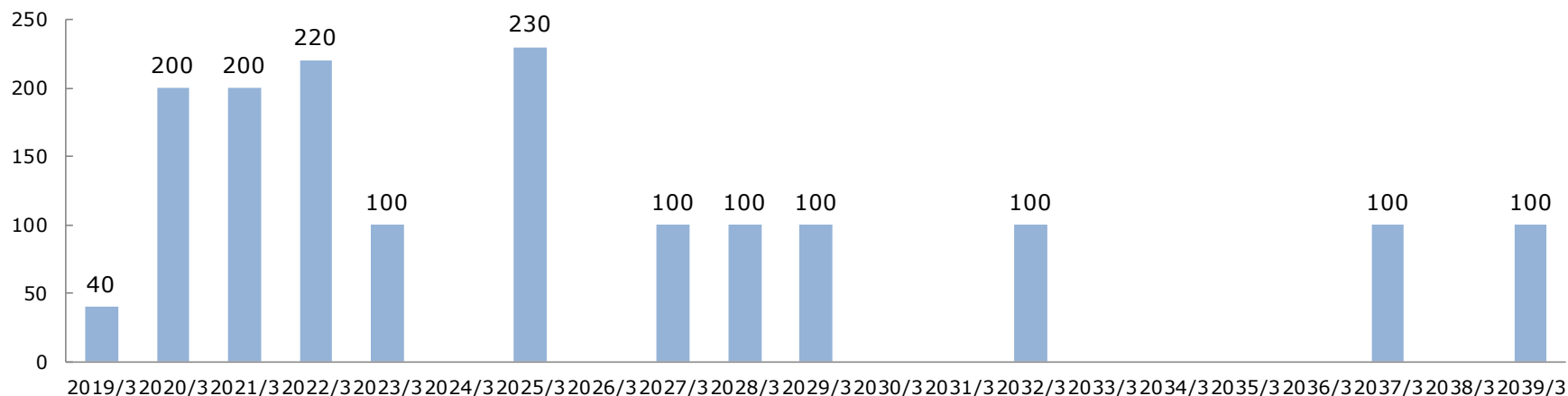
起債方針

同業他社の水準等を勘案し、当面は単体有利子負債の20%～25%程度を上限と認識しながら、市場動向を見極めつつ機動的に発行する

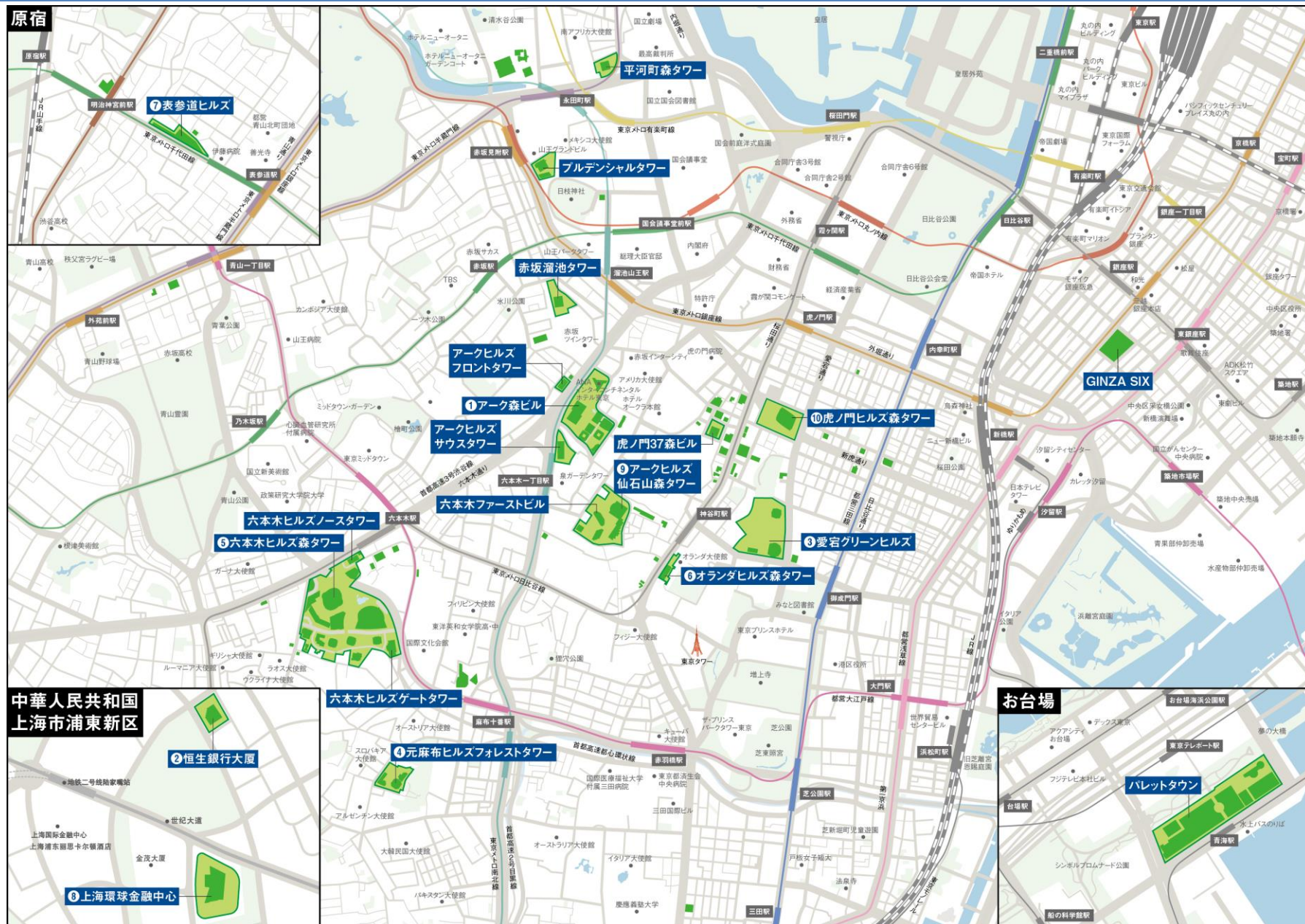
■社債明細

回号	ローンチ日	満期日	年限	発行額	クーポン	対国債	対スワップ
第7回債	2011年11月2日	2018年11月9日	7年	40億	1.66%	109.0bp	95.0bp
第11回債	2013年8月8日	2019年8月14日	6年	200億	0.91%	57.7bp	33.0bp
第12回債	2013年10月29日	2020年11月5日	7年	100億	0.80%	45.1bp	25.0bp
第13回債	2014年5月13日	2020年5月19日	6年	100億	0.466%	23.0bp	-0.4bp
第14回債	2014年8月8日	2024年8月14日	10年	130億	0.861%	34.0bp	15.1bp
第15回債	2015年2月6日	2025年2月13日	10年	100億	0.784%	43.0bp	16.4bp
第16回債	2015年4月24日	2027年4月30日	12年	100億	1.002%	56.0bp	30.2bp
第17回債	2015年8月7日	2021年8月13日	6年	100億	0.523%	39.0bp	16.3bp
第18回債	2016年4月20日	2031年4月25日	15年	100億	0.800%	75.0bp	48.4bp
第19回債	2016年7月5日	2036年7月11日	20年	100億	0.830%	78.0bp	66.4bp
第20回債	2016年10月19日	2021年10月25日	5年	120億	0.120%	32.5bp	12.8bp
第21回債	2017年2月10日	2027年2月16日	10年	100億	0.440%	34.5bp	10.0bp
第22回債	2018年3月2日	2023年3月8日	5年	100億	0.180%	30.1bp	2.9bp
第23回債	2018年5月11日	2038年5月17日	20年	100億	0.970%	44.7bp	28.0bp
第24回債	2018年8月10日	2028年8月16日	10年	100億	0.460%	35.0bp	7.5bp
社債残高計	-	-	-	1,590億	-	-	-

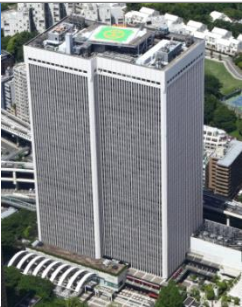
■償還スケジュール(億円)

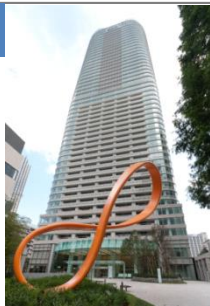


ポートフォリオマップ



ポートフォリオ一覧(主要物件)

	1		2		3		4		5	
物件名	アーク森ビル		恒生銀行大厦		愛宕グリーンヒルズ MORIタワー フォレストタワー		元麻布ヒルズ フォレストタワー		六本木ヒルズ 森タワー	
所在地	港区赤坂		上海市浦東新区		港区愛宕		港区元麻布		港区六本木	
竣工年月	1986年3月		1998年4月		2001年7月	2001年10月	2002年5月		2003年4月	
階数	地上37階 地下4階		地上46階 地下4階		地上42階 地下2階	地上42階 地下5階	地上29階 地下3階		地上54階 地下6階	
延床面積	181,833㎡		116,824㎡		86,570㎡	62,475㎡	45,023㎡		379,408㎡	

	6		7		8		9		10	
物件名	オランダヒルズ 森タワー		表参道ヒルズ		上海環球金融中心		アークヒルズ 仙石山森タワー		虎ノ門ヒルズ 森タワー	
所在地	港区虎ノ門		渋谷区神宮前		上海市浦東新区		港区六本木		港区虎ノ門	
竣工年月	2005年2月		2006年1月		2008年8月		2012年8月		2014年5月	
階数	地上24階 地下2階		地上6階 地下6階		地上101階 地下3階		地上47階 地下4階		地上52階 地下5階	
延床面積	35,656㎡		34,062㎡		381,600㎡		143,426㎡		244,360㎡	



賃貸

- 賃貸管理事業
 - 匿名組合六本木ヒルズ・フィナンシャルコープ
 - 匿名組合AR・ONE
 - ※ 森ヒルズリート投資法人
- 運営受託事業
 - 森ビル・インベストメントマネジメント(株)
 - 森ビル都市企画(株)
- 請負工事事業
- 地域冷暖房・電気供給事業
 - 六本木エネルギーサービス(株)
 - アークヒルズ熱供給(株)
- その他
投資事業、展望台事業、
フォーラム事業等

分譲

- 投資家向け不動産販売事業
- 個人顧客向け住宅分譲事業

施設営業

- ホテル事業・会員制クラブ事業
 - (株)森ビルホスピタリティコーポレーション
- ゴルフ事業
 - (株)央戸国際ゴルフ倶楽部
- 老人ホーム事業
 - ※ (株)プライムステージ

海外

- 事務所
 - 上海環球金融中心有限公司
 - 上海森茂国際房地產有限公司
- ホテルその他
 - 上海秀仕酒店經營有限公司
 - 上海秀仕観光会務有限公司
 - 森大廈(上海)有限公司
 - 上海環球金融中心投資(株)
 - Shanghai World Financial Center Investment No.1 (Cayman) Limited
 - Shanghai World Financial Center Investment No.2 (Cayman) Limited
 - Shanghai World Financial Center Investment No.3 (Cayman) Limited
 - OMORI BUILDING ASIA PTE. LTD.

中間連結比較貸借対照表

(単位:百万円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	平成30年3月31日	平成30年9月30日	増減	科 目	平成30年3月31日	平成30年9月30日	増減
流 動 資 産				流 動 負 債			
現 金 及 び 預 金	355,838	337,216	△ 18,621	支払手形及び営業未払金	19,682	9,376	△ 10,306
受取手形及び営業未収入金	12,479	10,327	△ 2,151	短 期 借 入 金	91,281	67,427	△ 23,853
有 価 証 券	35,090	45,088	9,998	1年内償還予定の社債	4,000	24,000	20,000
た な 卸 資 産	22,627	10,245	△ 12,381	未 払 法 人 税 等	5,926	4,060	△ 1,865
そ の 他	33,567	36,227	2,660	賞 与 引 当 金	1,444	1,582	138
貸 倒 引 当 金	△ 78	△ 73	4	そ の 他	23,323	29,119	5,796
流 動 資 産 合 計	459,523	439,032	△ 20,491	流 動 負 債 合 計	145,659	135,568	△ 10,090
固 定 資 産				固 定 負 債			
有 形 固 定 資 産				社 債	135,000	135,000	-
建 物 及 び 構 築 物	226,815	224,471	△ 2,343	長 期 借 入 金	1,006,132	1,038,186	32,053
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	10,101	9,636	△ 465	受 入 敷 金 保 証 金	75,937	74,365	△ 1,572
工 具、器 具 及 び 備 品	6,654	6,466	△ 187	長 期 預 り 金	6,114	7,269	1,154
土 地	435,274	438,755	3,481	退 職 給 付 に 係 る 負 債	1,497	1,751	254
建 設 仮 勘 定	24,251	35,259	11,008	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	789	791	2
信 託 不 動 産	574,999	570,449	△ 4,550	繰 延 税 金 負 債	113,054	117,945	4,890
そ の 他	30,153	39,685	9,532	そ の 他	3,969	3,647	△ 322
有 形 固 定 資 産 合 計	1,308,250	1,324,725	16,474	固 定 負 債 合 計	1,342,496	1,378,956	36,460
無 形 固 定 資 産				負 債 合 計	1,488,155	1,514,524	26,369
借 地 権	57,711	56,861	△ 849	純 資 産 の 部			
の れ ん	14,551	13,893	△ 658	株 主 資 本			
そ の 他	1,334	2,827	1,493	資 本 金	67,000	67,000	-
無 形 固 定 資 産 合 計	73,596	73,582	△ 14	資 本 剰 余 金	16,861	10,261	△ 6,599
投 資 そ の 他 の 資 産				利 益 剰 余 金	387,928	395,145	7,216
投 資 有 価 証 券	40,218	43,676	3,458	自 己 株 式	△ 11,507	△ 11,507	-
エ ク イ テ ィ 出 資	43,579	61,223	17,644	株 主 資 本 合 計	460,282	460,899	616
長 期 貸 付 金	19,020	23,239	4,219	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額			
退 職 給 付 に 係 る 資 産	310	455	145	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	9,370	11,054	1,684
繰 延 税 金 資 産	1,237	700	△ 536	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△ 909	△ 277	631
そ の 他	42,887	42,426	△ 461	為 替 換 算 調 整 勘 定	14,285	12,156	△ 2,129
貸 倒 引 当 金	△ 1,643	△ 1,559	83	退 職 給 付 に 係 る 調 整 累 計 額	95	74	△ 20
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	145,609	170,162	24,552	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計	22,841	23,007	166
固 定 資 産 合 計	1,527,457	1,568,470	41,012	非 支 配 株 主 持 分	15,701	9,070	△ 6,630
資 産 合 計	1,986,980	2,007,502	20,521	純 資 産 合 計	498,825	492,977	△ 5,847
				負 債 純 資 産 合 計	1,986,980	2,007,502	20,521

中間連結比較損益計算書

(単位: 百万円)

科 目	自 平成29年4月 1日 至 平成29年9月30日	自 平成30年4月 1日 至 平成30年9月30日	増減
営 業 収 益	136,693	132,531	△ 4,162
営 業 原 価	86,334	84,299	△ 2,034
営 業 総 利 益	50,359	48,231	△ 2,127
販売費及び一般管理費	12,008	12,245	236
営 業 利 益	38,350	35,986	△ 2,364
受 取 利 息	328	361	32
受 取 配 当 金	609	395	△ 213
受 取 出 向 料	210	342	132
持分法による投資利益	758	807	48
為 替 差 益	844	716	△ 128
そ の 他	621	603	△ 18
営 業 外 収 益	3,373	3,226	△ 146
支 払 利 息	3,849	3,748	△ 101
金 融 手 数 料	727	754	27
貸倒引当金繰入額	567	-	△ 567
そ の 他	21	170	148
営 業 外 費 用	5,166	4,673	△ 492
経 常 利 益	36,557	34,539	△ 2,018
固 定 資 産 売 却 益	587	583	△ 4
受 取 補 償 金	945	-	△ 945
そ の 他	938	19	△ 919
特 別 利 益	2,471	602	△ 1,869
固 定 資 産 売 却 損	389	132	△ 257
固 定 資 産 除 却 損	216	40	△ 176
減 損 損 失	-	2,648	2,648
そ の 他	65	20	△ 45
特 別 損 失	672	2,842	2,169
税金等調整前中間純利益	38,356	32,299	△ 6,057
法人税、住民税及び事業税	11,497	6,046	△ 5,450
法 人 税 等 調 整 額	579	4,410	3,831
中 間 純 利 益	26,280	21,842	△ 4,437
非支配株主に帰属する中間純利益	491	341	△ 150
親会社株主に帰属する中間純利益	25,788	21,500	△ 4,287

本資料における将来の予想に関する記載は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社にて分析・判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、異なる結果となる可能性があります。

